
【長男（ウーフ）】の育て方

沙山はるか

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

【長男】の育て方

【Zコード】

Z9831F

【作者名】

沙山はるか

【あらすじ】

はるかの【一人っ子・長男】の子育てエピソードをネタに、子育てを頑張り過ぎなくていいんだあ つと思えるキッカケになれたら なあ。つと思い書きました。とかく一人ぼっちの育児で誰にも相談 出来ず、ある時は子供にツラく当たってしまって、寝顔にそつと「ごめんね…」と謝つたり。。だけど、考え方で子供に対する気持ち や接し方が変わつて、自分もラクになれる！……書いていて『これ つてエッセイか？』って自問自答してますが、子育てに不安や悩み を抱えるママに私なりの何かを伝えたい！っていう想いを込めまし

た。

プロローグ（前書き）

はじめに。個人的な角度からの視点ですので、全ての方が当てはまるとは限りません。しかし、これから少しずつ書き溜めていくものをお読みください。大袈裟ですが・・・いわゆる育児ノイローゼとか虐待とかそういう悲しい方面に足を運ばずにすむのでは？という思いもあります。

プロローグ

私には息子が一人います。

【一人っ子・長男】ってヤツです。

彼も例外なくマイペースでおっとりした優しい子です。

しかし、それは一般的にみた長所的な面からの事。

実態は・・・

- ・目の前しか見えてない、のんびり屋。
- ・どんなに大変な時でも”我、関せず”というノリで生きている。
- ・頼まれたらNO!と言えない性格。

母親からしたら『謎のイライラ発現体』とでもいいたくなるような生物です。

しかし、自分のおなかを痛めた子であるが故、可愛く見えてしまつ。そして、責任という感情がついてまわります。

彼を産んでから10年の間、よくノイローゼにならなかつたなあと思う。

自分も三人姉妹の三女だから、マイペースなところは共通点だから？あきらめていたのかもしれないけれど。

しかし、時折『こんな風な子育てでいいのだろうか?』、つと悩みました。

そして、『この子はこんなマイペースでこれから先、大丈夫なのだろうか?』とも心配しました。

だけど、本好きな息子の学校での姿が遠目から見る事が出来る!つ

と思い、小学校の図書ボランティアに登録しました。

また、同じような本友達が出来るかもしない… っていう期待もありました。

その図書ボランティアに参加することで、たくさんの出会いと知識と安心を得ることが出来ました。

題名にもありますし、これからもたびたび出でてくるキーワード【ウーフ】これもその図書ボランティア仲間での会話から生まれた呼称です。

数々のエピソードと共にウーフネタ満載です。必ず、子育てのイライラが軽減されることと思います。

プロローグ（後書き）

今回はプロローグということで、全然さつぱり??つて感じでした
でしょうが、徐々に【一人っ子・長男】の扱い方の一つをご紹
介してゆきたいと思います。ご感想などありましたら、よろしくお願
いします。次なるパワーのもとになりますので・・・

【ワークとは? (前編)

前回は、プロローグとこうじと「はじめまして」の二挨拶でした
が・・・。今回は実際「ワーク」というのは何? つていうところをお話
たいと思います。クスッとしたやうところも含めて分かっていただ
きたくて、恥もむき出しの内容です。ぜひ笑ってください。

【ウーフ】とは？

息子は今、中学生となりました。

彼が小学4年生の頃でしょうか？

図書ボランティアでの読み聞かせの本選び・色々な絵本の意見交換・
・・といったらカッコイイですが、とにかく本の事についておしゃべりしていました。

皆さんもよぐり存知の『くまのこウーフー・神沢とし子』という本がありますが、その紙芝居を朝日新聞の読み聞かせにやってみよう…
とこの話からの脱線です。

「ウチの息子。」のウーフくんみたいなのがねえ。」

「のー言に周りのお母さん方も「ウチもよ。」「ウチの子もそいつよ。」
「つ」という声が次々に出てきました。

その後からは「ウーフのこんなところが似ている。」だの「このお話のこんなところがソックリよ。」と具体的なところまで進む進む…どんどん出てくる。面白こほどに出てきました。

本人は一所懸命に頑張つてこるんだけど、オチといいましょうか？
結果的に上手くいかない。

親からみていると歯がゆくて…鈍クサくて…見てられない…
とくに幼児期・学童期になつてくると、拳句の果てには

「ボクってダメなんだあーーーうわあーんーーー」

と泣き出す始末。

親はなるべく自分で出来た達成感を…と思つてフォローするけれど

「ボクがやつてるんだから、こじらないで！」

みたいな事を言われるものだから手を引くと・・・言わないこっちやない、上手くいかず大変なことに。。。

学校でもみんなと同じようなことをしているんだけど、最後まで時間が掛かったわりに肝心なことを聞き逃していて上手くできず、早く終わつた子にお世話になり完成をせる。つてことも数します。席替えで、隣の女の子が世話好きさんだと、授業参観の度にその子のお母さんこ「いつもいつもお世話になつてます。すみませんです。」つと頭を下げてます。なんてこう話も。

結局、そんな子供たれを【ウーフ】と呼ぶようになりました。

色々なお母さんの話から、ウーフな子供たちつて?つて探つていくと

- ・一人つ子もしくは第1子の長男
- ・長男でも上にお姉ちゃんがいる場合も少なからず
- ・男の子の双子

要するに”男の子”とくに”長男”が著しく多かつたんです。

女の子のお母さんからは逆に心配がられる言葉ばかりをいただきました。

中には女の子でもおつとりしていてウーフ的なんです。つていうお母さんもいましたが、そんな場合は、原作にウーフのお友達でうさぎのミミちゃんつていう女の子が登場します。

ですから、ウーフ的な女の子は【ミミちゃん】と呼んでいました。

逆に、次男で上のおつとつとした行動を見て育ち、要領よく何でもこなし、はたまたお世話上手な男の子とくに、羨ましこそどのお子さんもいます。

原作にはちやあんとそんなしつかり者のお友達も登場しています。ウーフやミミちゃんと同じ年らしいのですが、弟思いのあつねのツ

ネタくんです。

ですから、そんな羨ましいタイプの男の子は【ツネタくん】と呼ぶようになりました。

毎週月曜日の午前中、図書室で活動をしてきた図書ボランティアも和気藹々とやつていき、学年の違うお母さん同士でもたくさん仲良くなりました。

小学校を卒業した今でも、とっても時々ですが…都合のつくれ人同士ランチをして、日々の溜まったウーフネタを話して…笑い…お母さんのストレス発散をしています。

話は初めに戻りますが、彼が小学4年生から、これから先の心配もするようになつてきました。具体的には”思春期にどのように接したらいいのだろうか？””こんなに穏やかな子でも、反抗期は小さからず大きからずの差はあるとしても必ずやつて来る。””もつと大きくなつてグズグズしていて社会に出たら心配だ。””悩みはどんどん膨らむ…・・目の前の子供は楽しくマイペースで朗らかなる毎日を過ごしている。

まあ、ギスギスした毎日を送るよりかはイイに決まつているけれど…のんびりしていて、こぞという時に行動できなかつたら？！特に地震や災害が当時は多発していて、「いつ何処で大きな地震が起つてもおかしくないのです！」などと報道されていましたから、四六時中ついているわけにはいかないですし、自立してもらわねばなりません。とつさの時は自分を守るのは自分自身でしか守れないのです。

のんびりでマイペースですが、「ボクはこれじゃなきゃヤダ…！」「つとダダをこねるようなわがままというのもちょっと違います。本当に全てにおいてスローリーなんです。「怠ぐ」とか「怠がなき

や」という語彙は頭の片隅にしかないのでは? というほどなんです。だから、聞いている様で聞いてなつたり・・・聞いてない様でチヤツカリ聞いているんです。一言で言つと【謎の生物】なんです。

【ウーフ】とは？（後書き）

いかがでしたか？どのよつな子をウーフと呼ぶか、お分かりになつていただけたでしょ？決してマイナス面ばかりを指しているのではなくて、頑張っている過程も考慮して呼称といつより、愛称でしうね。

親子の関係（前書き）

どうも… 今回は実際にこんな風にしたことなども交えながら、【ウーハ】と認識することにより、生まれる親子関係を【紹介します。

私自身とっても救われました。

本仲間の方達で、ウーフ話をしているとスースーとしたんです。

「こんなにトロイのは我が子だけなんじゃないか?」

「どうしてよその子はあんなにアレもコレも上手にこなせるの?」。

。どうして?」

つて悩んでいたのは自分だけじゃないんだ。

この人達になら今まで悩んでいた事や失敗談も話せる。

この活動に参加してよかつたあ。つて思うようになりました。

カリカリ・イライラきそつになつても『そつかあ、ウーフだもんね。仕方ないよね。』つとねつやつて自分に言い聞かせるよによになつたらラクになつたんです。

現状を見て今までなら『早くしなさいーなんでモタモタしてゐるのー。』と口を挟んで手まで出してしまつていきました。

しかし、自分自身に言い聞かせている僅かな時間が、私の方に余裕といいましょうか…受容といいましょうか…空白の時間、良い間合いが生まれたのです。

それから息子と向き合つことにより、子供へのフレッシャーが和らいだのでしょうか。子供の方も自然と自ら進んで取り組んだり、自分なりの方法を考えたりするようになりました。

そして、ボクは したい。つとねつ自分なりの意見や考えも言えるようになってきました。

もちろん、いきなりはムリですし急に変化が見えたわけではありません。

今にして思えば…・という視点からお話しているのですがねえ。

当時はそんなことは微塵も思えませんでした。 1年経ち・2年経ち・

3年経ち・・・って時間が経つにしたがって、ガミガミ怒ることが減ったように思います。

むしろ、彼の個性を尊重した上で、彼方なりの改善策を一緒に考えよう一つと話を持つていくようになりました。

何故が本仲間のウーフたちは時代の流れなのか？ウーフ特有の争い事を嫌う特性からか？

地元の元気がありあまるほど子供たちが集まる中学校のウワサを聞きつけて、中学受験に挑む決心をしました。

もともとのんびり屋さんでマイペース。争い事も嫌いで、ましてや他人を退いてまで自分が抜きん出て何かを得る！なんてことは間違つてもしたくない子なのに。。。

私自身、自分に相談されても父親にどう話を持つていいものやら悩みました。

一番は、他でもない金銭面が避けては通れない問題がありますから。しかし、田頃ウーフの生活を間近で見ている母親からしたら、今まで自己主張という言葉からは離れている性格のウーフから、初めて明確な理由もつけてまでの自己主張！叶えてやりたいと思つてしまふんですね。

ウチの場合は、祖父や主人の影響から教員になる夢がありました。小学校に入ったぐらいの頃からの歴史好きは周知の事実でしたので、その歴史をもつともつと研究したい。という具体的な展望を提示しての直訴でしたねえ。

他のウーフ君たちにもそれぞれの様々な理由がありました。また、お母さんからみてウーフだからこそ！器用に（世の中を）渡つていかれないであろうウーフだからこそ、チャレンジさせたい。という方もおられました。

つとまあ話がだんだん逸れていつてしまいましたが。。。。

あんなこんな・・あちらこちら・・と色々な物事にぶち当たりながら親子で毎日を潜り抜けてきました。「毎日を過ぐ」した「つ」というよりも「毎日を乗り越えてきた」つと「うよつも、やはり『毎日を潜り抜けてきた』という表現がしつくりますねえ。

今では、ウーフでも色々なウーフが集まると面白いーつとまで思えるようになりました。

今度はどんなネタを繰り出してくれるのだろう?・?と期待をえしてしまつほどです。

しかし、現実に田を向けると中学生ともなりますし、樂観的なことばかりいってもいられないのですがねえ。母としても、頭の中では分かっているのです。もつとゲキを飛ばしてハッパをかけてやらねばならないことも。

だけどウーフされどウーフ。。。押さえつけられれば押さえつけるほど萎縮してしまつ場合があるのです。押したり引いたり上手い具合にアメとムチなどを用いて誘導しなければ、本末転倒となつてしまつこともありますね。

ただ、野放しにしていれば良いわけではありません。

ウーフという謎の生物の特性を見抜いて、上手くフォローしてゆかねばならないのです。

そんなの難しそうる!!出来ない!って思つてしまつ方も居られると思いますが、大丈夫。

再三話に登場してきます言葉【マイペース】【のんびり屋さん】【おつとりしている】【争い】【争い】これらの中からする行動が決まってきますから、一つの物事にたいしての反応が読めできます。

それから、ウーフは好きなことには集中力が持続します。とても熱

中しそぎてトイレも我慢する子もいるほど。子供は元来好きな事には熱中しますがねえ。ウーフはマイペースが故に？？好きな事には「オタク」と呼べるのでは？といつほどに固執する傾向があります。なので、好きな事にムリヤリでもいいので関連性を見い出したらチャンスです！――

そこからは親が手を出さなくとも勝手に幅を広げていってきます。例えば…ゲーム。子供たちの好きなポケモンのソフトに熱中していたら。。。。

ポケモンのモンスター図鑑と一緒に見ると分かりますが、モンスターそれに属性・特性というのがあり、相性の悪い属性や相性の良い属性があるのが分かります。

理科の「電気と水の反応」に応用することが出来ます。でんきタイプとみずタイプの相性は？分かりますねえ…電気は水を通りますから、みずタイプからみるとでんきタイプとは相性が悪い。つとなりますねえ。

意外と色々なタイプがありまして、でんき・みずの他に、くさ・じめん・ほのおり・こおり・いわ・あく・エスパーなどなど・・・

社会の特産物も、今日の夜はカレーよ。最近はスーパーや出荷元でも産地明記されているものが多く見かけます。そんな身近な話題から産地名とその場所を地図で見てみると、このも良いでしょう。おやつのお菓子の袋を見ながら、これって 県でつくつてるんだあ。などと話すのも良いでしょう。

子供はゲームや食べ物の話にはノッてきますからねえ。

特にウーフは食べ物大好き！――ですから。。。。

今までの話から…親の方にも余裕といつか一呼吸おくことにより、声かけが柔らかくなり…親子関係も円滑になつてゆく。って事ですねえ。

親子の関係（後書き）

いかがでしたか？心がけしらいで全く違う親子関係が生まれるのに
はオドロキますが、常識が通用しない相手には……常識から一步離れ
てみると太刀うち出来ないって事でしょうな。。

ウーフの特性①

息子と仲良くしてゐる子達は、やはりウーフです。

- ・ウチと同じ一人っ子
- ・第2子長男（上下女の子に挟まる）
- ・双子の長男（男女の双子）

自己主張しない4人が集まつて遊ぶと向して遊ぶか？ってところから迷う。

友達同士なのに…譲り合い精神がそれに出で決まらない。そう！ただの優柔不断の集団と化してしまつ。

親からしたら、その時間もつたいたいから…って思つてしまつが、彼らにとつてはソレすらも遊びの一部であつて樂しいらしい。

夏祭りに、地元の商店街に並ぶ屋台の道を「どのお店にする？」と話しながら歩いていたら…屋台が間バラになつてしまい、ロターンして歩いてきたら反対側の端っこ近くなつてしまい…っていう有り様。

しかし、帰り道には『今日ははとつても楽しかったね。』（< - >）などと満面の笑みでのたまふ（ - - - ）。

学校であつてもウーフのオーラ出しまくりです。

先生がプリントを配つてやきます。

一枚取り、残りを後ろの子へ渡す…ハズなんですが、一番前で先生にプリントの束を渡され、そのまま後ろの子に渡してしまつ……家

でアレ？ 今日もらつたはずのプリントがない… って騒動になり、学校へ取りに行くつていうかもらいに行く（ - - - - ）

そつそつ、大抵のモノは二つないしは余分に用意しておくれべき。。。。

名札は2つ用意しておいたり… 消しゴムも2個、赤鉛筆も2本筆ばこに入れてあります。

なくなつたり… 学校の机にしまつたまま下校したり… ノートに挟んだままカバンにしまい下校したり… は当たり前。なので、その都度怒り爆発！ しない為に… 準備を。

ある子は、体育帽子を3つ持つてました。1つは、3年の1年間自宅の机の奥で潰されたまでしたから（ ^ - ^ - ）

あとは… となりの席の子の教科書まで持つて帰つて来ちゃつたり… も当たり前のようにあつたし。

いつも注意されているがゆえに、『気をつけないと…』って思つてゐるんだけど… そつかしい… というか、おつちょこりょこなところが多々あります。

その上口チラが気をきかせて助言しても『そつかなあ？』なんて言つて聞く耳持たず（ - - - - ）

ウーフの特性ー（後書き）

つとまあなんといこましょうか…例えを出したらキツがないほどです。
すが、次回からも良い事困った事などなど挙げてゆきたいと思いま
す。

特性2～意外な一面～（前書き）

今回のウーフくんは、大活躍しますよ～。(^ - ^) 今までのふにやふにやした感じでなく、意外な一面をご紹介しています。

特性2～意外な一面～

こんなに『いい人』やつててどうする?
学校ではイジメられないだろつかつと母親ですから心配してしまいます。

イジメつ子と云うのは、元々悪い子供なんていません。
周りの環境・情報などが一番の原因だと思います。
また、子供なりに新しい環境（クラス替えなど）で、優越感・優位
にありたいつと云う気持ちが、自分自身気付かぬうちに良くない表
現方法で、周囲に向けられているのでしょうか。

ウーフも例外にならず標的にされます。

だって、見るからに弱ですから。言つこときをううですから。
まあそんな時は、やはりしばらく相手にやられまへんです。情け
ないけど……。

しかし、その後は親も予想しない展開になるんです……！

先ず1人目のウーフくんの場合。

小学校入学時から地元の剣士会で剣道の稽古に通うウーフくんは、
手近のほうきを取つて構えた。そして、一瞬の間にわんぱく君に面
一本を軽く（？）打ち込んでしまつた。

もうちひんその後はわんぱく君からの嫌がらせはなくなりました……。

次に2人目のウーフくんの場合。

また別なパターンで嫌がらせを受けていたある日。

普段はぼわ～んとした2人目のウーフくんも、耳まで真っ赤になつ

て、腹の底から大きな声を出して『やめろおーー!』と怒鳴った。もちろんコチラもその後はわんぱく君からの嫌がらせはなくなりました。

更に3人目のウーフくんの場合。

少し背丈が大きめなウーフくんでした。

何度もつつかれたりの嫌がらせに耐えかねて、『やめろよ!』の声と両手で押し返した。が…相手にしたらバーン!と強い力で押され後ろにひっくり返るというか?なぎ倒された状態になってしまった。

もちろんその後は、言つまでもない事ですね。

共通点は、初めはやられまくつてますが、耐えかねると莫大なパワーが出てきて、一撃で優位に立つてしまつ。

その影響力は後々まで残すよなびっくり!な行動をする子なんですねえ。

親からしたら、とっても頼りなさげなんですがねえ。意外な特性を持つているんです。

特性2～意外な一面～（後書き）

いかがでしたでしょうか？隠れたウーフくんの底ぢから？を垣間見
た感じではないでしょうか。。。

ウーフ迷言集?

【ボクに まかせてー。○(^ - ^)○】

この言葉を聞いて、あなたはどう思いますか?

1・良かつたわあ。やつと皿皿を持って、やる気になつてくれたの
ねえ(^○^)

2・えつ?ーウソー!それが一番心配なじやない(ト○ト)

いくつになつてもウーフはウーフです。
よつて、2番を選んだあなたは ウーフの母としてなかなか特性を
掴めていますねえ。

1番のあなた、ウーフは大きくなつてもウーフです。用心はしそぎ
るへりでひより良いんです。

これは実際にママ達のランチでも分かれました。

やはり、しつかりした女の子のママは1番でしょーーーとい
ウーフの母は迷わず2番を選びました。

【じゅ~ぶん。じゅ~ぶん。】

これは、公園でジャングルジムでの一言。幼稚園に入つたばかりに
もありました。

その時のウーフの位置は……1本田の田んび。
つていづ事は、ウーフくんは地面から一つ上がつただけで充分らし

いです。

つていうか、口ついので冒険なんてしません。

”石橋をたたいて…も 渡らない”んです。ウーフは。

”石橋をたたいても渡らず 他人が渡るのを見てから渡る” つて
いう感じ。

もしくは、他人が渡るのを見て、自分も渡つた気分になつて「充分
満足」つてことなんでしょう。

【けつこ～でしゅ。（ガチャ）】

電話に出たいこり…幼稚園くらいかな？

たまたま私より電話に近い場所にいたので、出でしまつた時の言葉。
で、この後ガチャつときつてしまつたんです。

日頃、セールスの対応をそばで聞いているんですよね。さすがに
私も、この時オドロキました。

もちろん、その後も「どうして切つちやつたの！大事な電話だつたら
どうするの！」なんて叱りません。

だつて大事な電話だつたら、また掛かってくるに違ひないですから。
そう、ウーフの母でいるにはそのくらいの腹をくくつた方がラクに
生きられると思いますよ。

【あふうない！あふうない！】

これは、まだ幼稚園入らないか？入つたばかりの頃。

お散歩をしている時に、遠くから車が走つてくるのを見つけると…
忍者の様に壁にへばりついてしまうんです。

もちろん一緒にお散歩している私ないし主人に向かつて発せられた

言葉です。

普段なれでいる私は「はい。はい。」つと受け流し、道の端によりましたが・・・

主人は「？？？」「イツは何をしたいんだ？」つとばかりに不思議がつてました。

今回は少ししかご紹介出来ませんでしたが…まだまだです。また貯めておきますねえ。

いくつになつても

ウーフは、子供ばかりではないんです。大人の中にもウーフは存在しています。驚くべき時代だわ。

息子が10歳頃

そう、昔ならそろそろ自立して、家を手伝いながら勉強もして…つとなりつつある歳なのに！現代の善きにも悪しきにもラクをしがたのかもしれませんねえ

私は驚愕な事実に気がついてしまいました。

それは、田頃色々な事に対して家族一？いや、たいていの人とは比べものにならないくらい冷静沈着で、何事にも第三者的な目で捉えて、私からしたらなんでもこなしてしまい憧れの主人が！…まさか！のまさか。まさに身近なところにいるもう一人のウーフだったんだつていう事に…気がついてしまったんです。

長男だし…でも弟さんもいるわけで、一人っ子ではないんだけども。普段の言動や動向から分析してみると…【普段はツネタの皮をかぶつたウーフ】気がついた瞬間は後ろに倒れるかと思いました。

ウーフの母達で、田那さん分析をしてみると…ウーフ度の高いウーフくんの父は、やっぱりウーフなんです。
中には一人っ子長男でもツネタくんな子の父親はやはりウーフではないし。。。

分析しだすと止まらなくなるほどで…結論に行きついたワケですが、【いくつになつてもウーフはウーフ】

まあ。しかし、大人ですから常識的な範囲で行動したり発言しますから、普段は分かりにくいでしようけどねえ。成長する過程で、上手くツネタの皮を着られた人、ちょいツネタの皮を着られた人、しつかり系？ウーフの人、やっぱり大きなウーフをウーフの上から着てる人…様々ですがねえ。

でも！家に帰つたら『皮』は脱ぐんです。だからウーフになつてしまふんです。

普段どんなにクールな人でも、普段どんなに知的な人でも…

まず、『口までくると笑うしかない』っていう感じになつてくる。腹をくくるといいましょうか？『母』として自分自身頑張らなくてもいいんだあ。なんて思つてしまつたりもする。

が、しかしここでも落とし穴が…父親も子供もしつかりウーフで…母はミミちゃんだったら？？？

しかも、その母が「頑張らなくてもいいんだあ～」って思つてしまつたら？？？

誰もまとめ役がいなくなつてしまつていて…これも歯止めが利かずヤバいですねえ。

だから、母親としては頑張らなくてもいいんだけど、決め事や何かはワタシ流つていう風に硬く考えずにいけば…それもかな？なんて思います。

明るいニュースが少ない世の中…ウーフな生き方もある意味スゴい選択肢だけど、一つアリかな？なんて思つてみたりも時々します。でも、ワタシには出来ないなあ。。。。

一人ぼっちじゃないよ

毎日の中で

『いつまでこんな風にしないといけないの?』

『私だけが……』 または『ウチの子だけが……』

一人ぼっちの子育て…社会からの疎外感を多かれ少なかれ体験するかと思います。

それは子供や旦那がウーフに限らず、多くの方が感じる事かと思います。

一度ネガティブになると、どんどん発想がマイナスになつていきます。

私も元来そういう発想しか出来ない性格で、未だにその片鱗はあります。

息子を産むまでは…更にさかのぼると、結婚する前までは特にその傾向が強くて泣いてばかりでした。

でも、全てにおいて【考え方】がキーポイントかと思います。

初めの【ウーフとは?】でもお話した通りに、一つの特性も見方を変えたらいくつもの表現の仕方が出来ます。

- ・物静かで、落ち着き、大人しく、控えめな性格

- ・ひ弱で、引っ込み思案で、ハッキリしない優柔不断

逆な性格も然りで

- ・明るく元気、明朗快活、決断力に優れ、積極的な性格
- ・「ひるねぐ、落ち着きがなく、自己主張が強過ぎる

時と場合、場所などをわきまえないと、同じような人でも印象的に悪く映ってしまいます。

とかく日本語は曖昧な表現が多く、紛らわしくて間違つて解釈されやすいものですから…

また、その曖昧な表現があるからこそ、微妙な感情表現を芸術的に表わす事も出来るのでしょうかねえ。

ですから、子育てにおいても同じような事がいえるハズ? つと考えました。

『みんなも同じように子育てしてるんだ。』

『母も私を育ててくれた時に感じていたはず。』

『第一子を育てているママ達は、みんな不安な思いをしているかもしない。』

そう思つたら一人ぼっちに感じなくなりました。

それから、またある時は…

『こんなに熱ばかり出して… イベントはこの子の熱でキャンセル。どうして? 私は細やかな楽しみも楽しんではいけないの? 子育ての間は何もかも我慢しなきやいけないの?』

『フツー通りになかなか満足に出来ない』の子は、大きくなつても
こんな風なままなの?
このまま大丈夫なんだろうか?』

などなど……閉塞的に考えたり。

日々ツラこと感じられるような場合、ずっと続いていきそうに思つ
てしまいます。つていうが私も思つてました。

しかし、赤ちゃん時期の夜泣きだつて、半年以上続くわけではない
ですし……

トイレトレーニングがなかなか上手く出来ない子も、学校上がつて
までおむつの子はいません。

どもりがちな子も、こちらがゆっくりでいいのよ(^ _ ^)つとこ
ちらにゆとりをもつて接すれば、だんだんとフツーに話せるよう
なりますし。

そうー今の現状は永遠ではない!

そして、自分と同じような環境の人は他にもいるー
だから、マイナスに考えなくともいいんだよ。

一人、ぼつちじやないんだよ。大丈夫。

きっと明日は・・・。もし明日じゃなくとも、そう遠くない将来に
は仲間に出来れる。

特性3～ウーフ時間～（前書き）

ひょいひょい思ひ出しあつて書き溜めているウーフ話。
笑つたり、うなずいたり、わが子観察のための材料になれば。。。
と思います。

特性3～ウーフ時間～

【ウーフ時間】

ウーフの行動や考え方、全てにおいて絡んでくる非常に緩やかな流れです。

焦らずゆっくりの彼らですから、他人と同じ作業をしようつものなら当然の「」とく遅れてしまつんですが……

それがまさしく！ウーフ時間です。

- ・自分自身は頑張つてやつてているつもり。
- ・自分自身は遅いなんて思つてない。
- ・周りは見えていない。

だから、周りに早くしなさい！って言われても…全然響かない。イヤだなあつとは少なからず思つても、『だつてボクはボクだもん』とか『そつかなあ？遅い？』っとしか頭に浮かばない。

ですから、早め早めに準備をせちちよつど良い？って感じです。もちろん本人にはまだ充分時間があることは伝えないで。。。追いで立てる。でないと『なんだ、まだ時間があるのか』っと周りにペースダウンして意味がなくなつてしまつから。

【見えるものが…見えてない】わりに言つたり…見えないものが見えている？！

「つい話のほりの「見えないものが見えている」じゃなくて（笑）

一番分かりやすいのは、探し物。

テーブルの上にあるのに、分からぬ。

けして、隠れて見えにくいわけではないのに、

ただ、立ち位置を一步横にズレたらいにに一つでいうくらいでも

……見えてない。認識されない。「どこ? ないよお~?」 ひとつ直

ぐにあきらめて引き返してしまう。

初めはワザと分からぬいつりしてない? つて疑つぽびだつたけど、
長年ウーハと生活していると明らかになつてくること。

不思議なことに、見えてるものが見えてない! ! んです。

で、極めつけにいつもの『そうかなあ?』と納得いかない風に言つ。

【そうかなあ?】

上でも出てきた「そうかなあ?」ですが。。。

こちらの意見に納得いかなくて、少々不満げによく口にされる言葉。

同調もしなければ反論もない。

しかしウーハなりに、確実に納得いかない? といつ感情表現を相手に示してくるつもりなのでしょう。

だけど、それがこちらの感情を逆なでしてくるのにはいつも気がつかない。気がついてしない。

【争い】と嫌う

もともと人はそうでしょつが。大体の場合は、争い事までに至らぬ

くとも、多少の考えの相違があるのは仕方のないこと。と思つて生
活していることでしょう。

だからといって、初めから社交範囲を狭めたり、自分の主張を控え
たりはしないはずです。

その時はその時。。。つとめて範囲を広げたり、自分の考えも何
気に発言したりして廻つていくと思うんです。

しかし、はじめの方の特性でもあるように、人との争いを嫌う・・・
それゆえに「一人でいるのが好き」「周りが気になる」「依存性が
高い」などウーフそれぞれによつて回避方法が異なりますが、根本
は一緒。自分も相手も傷つくのはイヤなのです。
だからなのか?初対面の人とは緊張してあまり心を開こうとせず、
様子を伺つてゐるみたいです。

【規則は規則。曲がった事はイヤ】

なるべく円滑に事を済ませたい。危険や争いを回避しながら自分の
立ち位置を探しながら、友達や仕事場での立ち位置を確保して
ようなウーフ。

それでも曲がった事はイヤ。規則は規則。ルールはルール。正義感
は芯にある。

だから、和を乱す人やルールを守らない人は苦手なので、だんだん
簡素な間柄になりやすい。逆に親しくなるとつても長い付き合
いになる。

【憎めないキャラ】

今までの特性などから、憎めないキャラクターらしい。

キチンとしているつもり。なんだけど、何か一つ忘れている。

・・・スローテンポなところがイライラするはずなんだけど、そんなところも含めてウーフらしさと認識されて、特に年長者からは可愛がられる傾向にある。

なんとも得な人格。

ウーフの自信

ウーフを理解しようとしても難解な生き物なので、なかなか至難のワザです。

しかし、分析を楽しめたらしいかな？って思っています。

前回の【時間】と並んでウーフならではのキーワード【自信】です。

まるで、彼らの中にはもう一人の「こいましょうか…もう一匹の生き物がいるのでは？」と思いつくらいなんですが…

勉強にしろ、遊びにしろ、何かをする上で親や周りの大人を恼ますような発言・発想をするんです。

それは自分の好きな事や関心のある事に対しても、または自分の得？というかプラスになる事に対しても多々みられる傾向にあります。しかもそれらは『根拠のない自信』の基に掲げられた砂上の城なんですが…！彼らは普段メチャクチャ譲り合い精神バシバシなのに…そういう時に限って”頑固”なんです（ーーー）

そう…。『そつかなあ？』なんて全く気のない返事をしたりするんです。

いや…全く気がないのはもちろんの事ですが、もしかしたら自分の意見はまだ正しいって思っているのかもしれません。

まあそんな時はムリじいしないで、『そういうもののよつ』という程度に留めて…しかしこちらの意見を主張させる程度にしておきましょう。ムダな時間とエネルギーを使って言い争いして、お互に気分を悪くするよりよっぽどいいですから（^ー^）

また、今まで話していた、強気なまでの《根拠のない自信》をみせる時もあれば……

全く正反対の、前者とは違つ弱氣で内向的な《不安・心配性》の塊になる時もあります。

まあそれらはウーフのもつ周りの田を気にする控えめな性格から想像するのに容易なんですがねえ。

前者の例えをみていただければ分かる通りに、自分の苦手とする事・興味の浅い事・行ったことのない場所・未経験の事・・・たいていの方が多少自信のない事つて考えられる場合つて思つて下されば大丈夫なんですけど・・・。

彼らの不安感・心配度はハンパじゃないです。

「考え過ぎだから…もうちょっと自信もつたら?」つと何度も言つたことか（・・・）

極端ですねえ。どっぷり浸かるか近寄りもしないつていうくらい遠巻きにいるか……

まあ、ある一面ではそのくらい分かりやすいので、敵も作りにくいです。

世間でいう天然系とか癒し系とか、のんびりしたところが評価される時もあります。

場合によつては、シアワセなキャラつといいましょうか?得な性格に変化してしまつたりしますねえ。但し、そんな時にも前者の《根拠のない自信》が顔を出し…ボクつてスゴいかも（^〇^）つとか満面の笑みだつたりします。

やはり、親は上手くそこらへんをアメとムチで誘導するべきでしょうね。

ただし、のんびりした部分を放任しきると、成長過程で世の中の波に乗れない…っというか、世の中の波に溺れて漂流してしまつかも？なんて心配も出でてきます。

ですから、ウーフはウーフらしく…カッコつけずに穏やかにのんびりと、そのまま大きく育つて欲しいのですが…多少は『自分』っていうものをもつこと、自分の言葉でしっかり伝えられる『人間』になること、一人でも歩いてゆけるようになること。を身につけるように仕向けてゆきたいものです。

そう、ウーフって…変なところで頑固ですから。そして、変なところで真面目ですから。

「つむのウーフの反抗期（前書き）

今回はウーフの話とこづより、私サайдの話がメインになってしま
いましたが、こんな反抗期を過ごした家庭があるんだ・・・と思つ
ていただけたらよいかと思います。

「つむのウーフの反抗期

そもそもウーフというのは、のんびり屋の男の子につけられる愛称だつたりしますが・・・
そんなウーフたちも例外なく思春期・反抗期というお年頃を迎えます。

母親としてはとても心配なわけですよ・・・

元々彼らはウーフ。

そう、彼らは自分の世界にのんびりと生きる謎の生物。
人並みに反抗期なんか迎えても、自分自身受け入れられないんじゃないだろうか？

日頃のストレスを発散させるように、大爆発されるんじゃないだろうか？

もしかしたら、反抗期なんてなくて大きくなってしまうのか？

もし爆発されたら、そんな時私はどんな風に対処したらいいのだろう。
どのように接したらウーフはウーフらしく自分を取り戻してくれるのだろうか？

悩みました。ホントに久しぶりに真面目に考えました。

- - - - - 息子のそれはある日突然でした。 - - - - -

主人が入院中。

息子と私の二人だけの生活を心配して、私の両親が泊まりにきててくれた時でした。

ちゅうど春休みから新学期が始まつたぐらいの頃。

普段優しい祖母が、一緒に住んでいる内孫の兄弟を褒めて・・・
「こんな状況なのだから、お母さんを助けなければね。」つと言つ
ような内容の話をしたのでした。

突然怒つた様に荒々しく部屋を出てゆき、部屋にこもつてしまつ
した。

もちろん自然な流れだつたんでしょうけど、本人的に気にしている
し・・頑張つているにも関わらずつて思つたのでしょ。つ。

それからは氣まずくなつてしまつましたし、実の両親とはいえ久し
ぶりに毎日一緒に暮らしてみて疲れが溜まつてきました。

自分ではそれとなく・・・だつたんですが気に触つたようで。

「この1週間ありがとう。そろそろ一人でも頑張つてみるわあ。い
つまでもじや悪いし。」
つと言つたところ。

母は怒つたように帰り支度を始めたんです。翌朝両親は実家に帰つ
てゆきました。

時々父がやり取りに応じてくれますが、1年近く経つた今でも母と
は話をしています。

寂しいとは思いますが、新しい家庭を築いている私にはどうするこ
とも出来ないし、むしろ遅い親離れが完全に出来たかな?なんて思
つてしています。

その後の息子は・・・

両祖父母が自分がキッカケで足早に帰つてしまつたのでは?とも考
えて

私に聞いてきましたが、私自身の問題だからコレで良かつたのよ。
つと笑顔で話すと

色々なことを察してくれたのか否なのか、黙つて頷くだけでした。

そして、今まで以上に会話をするようになりました。

春から夏にかけて・・・

機嫌が良い時もあれば、何もないのに気が立つて任侠映画の様に眼光鋭く・・・肩が触れただけで倍返しで暴言が返つてくるつて言つ状態。

悩みに悩みましたが、ウーフ仲間のママ友達と話していくら何となく気分が晴れたんですね。

それから、習い事の先輩ママさんにグチつたら色々な体験談を聞かせてくれて

「ウチも上の子の時に大変だったのよ。1～2年くらい波があつてねえ。チビたちにも近づかない方がいいからあつちで遊んでなさい。つて言つたりねえ。でも今じゃケロリとしてるわよ。」

「お姉ちゃんの時は色々あつたわよ。普段大人しく見られるけどお（^へ〇^）スゴイ言葉使いしてねえ。やつぱり1年間くらい良かつたり悪かつたり繰り返して、気が付いたら治つてたみたいな感じかな？」

「そうだよね。。。やつぱりそのくらい続くんだあ。でもずっとじやないから辛抱するかあ。

そんな風に思つて様子を見ていたら、夏休みが始まるとには俗に言う「キレる」とはなくなりました。

最近一年前の話をしましたが、彼曰く「あの頃はイラついてる自分自身にも腹が立つて・・・でも、何でイラついてるのかも分からんんだけど、とにかくイライラしていたんだ。」だそうです。

そんな話が出来るのも何かハードルを越えて、一つ成長できたからなのかもしだせません。

今では、主人の身体の事。仕事の事。など相談にのつてもらつたり

します。

中学2年で、後輩と先輩との間になつて色々こなす様になつたから理解できるこことていうのがあるんでしょうね。

まだまだ成長過程ではあるけれど、ウーフ的な感性でだんだんツネタの皮を被れる様になってきたのかな?なんて思つています。

「いつのウーフの反抗期（後書き）

どうですかねえ。とりあえず反抗期の真っ只中では書けなかつた事ですが、ウーフなりの葛藤があつたんだと思います。それを受け止めてあげれば、トンネルは長くはないと思いますよ。

時間が必要

今回扱う『時間』は、以前に出てきたウーフ時間に似ていますが、微妙に違います。

今回は、動作がスローな方ではなくて、結果や結論がでるまで時間がかかる。っていうお話を

【ウーフ、高野豆腐説】

はっ？ つていう感じですが、共通点を探すと……笑っちゃうほどピッタリなのに気がつきます。

今までの話から、ウーフの特徴はイヤつてくらいお分かりのハズ。そう！ 何にしても時間がかかる。もしくは、何にしてもじっくり待つ必要がある。

そのため、母親はイライラしてしまって親子ゲンカに発展！ つていう負の連鎖反応になりやすかつたと思います。

では、急な話ですが、今回のキーワードの【高野豆腐】

お料理する前に、戻す手間はかかりますが、ふくめ煮にする時は放つておけばおくほど染み込みます。

かたやウーフの話。

初めての事は、なかなか定着しにくい。または、なかなか取つ付くにくい。

さらに、初対面の人には警戒心が強い。観察しまくる。

しかし「チラが少し耐えて、時間をかけてじっくり取り組ませれば、パターンを自分のものとして、上手く」なせる。

「」で出てくるのが「根拠のない自信」「僕つてすごいかも？」

つて特性。

そして結果として、大人顔負けの結果を出す」とも遣りかねない。

そうです。

親はイライラしがちですが、習慣が染み込むまでに時間がかかるんです。

しかも、一度習慣が染み込んでしまえば「いつものもの、継続し続けます。

「ウーフは高野豆腐の如くなり」

例えば、基礎英語。

息子も友達も聴いています。

友達は中学1年から丸2年間

息子は中学2年夏休みから半年強ともに習慣づくまで1ヶ月くらい、親が時間になると促していました。

その後は、時間になるとちゃんと聴いています。

しかも次の学年のも自然に聴いていたりします。

たつた15分間。

チリも積もれば山。

いやこの場合は、継続はチカラでしうか。自分から2学年分聴くようになりましたし。

つていうことは、30分聴いてるつていうことだから、聴くチカラはしつかり着いたかと思います。

恥ずかしい話ですが、中学1年の頃は、カタカナ英語で読んで、bとdを間違えて書いていた子です。

悩んで、色々な教材も試しました。それでも定着しなかつたんですね。驚くことに、それでも英検4級も中2でとれました。

この話の冒頭にもあります通り

「口チラが少し耐えて、じっくり取り組ませれば、自分なりのパターンを掴んで、上手くなせるようになります。」

多分、それがこれがな？　っと思います。

次のキーワードも意味合には同じですが【牛歩】

そつ、「牛歩」ついで国会議員の進んでいるか止まつててるのか分からぬ程の一歩ずつ進んでる戦法！？

前での英語も、定期考査や小テストを一つ一つみていると、イライラの種が満載。

「また同じような間違いして！」

「ピリオド忘れてる！」

「英文がアルファベットの羅列で単語の区切りがどこか分からぬ！」

上げたらキリがないくらい紙の上に散りばめられています。

でも、最近になつて思つ」とは

「そつ、この子はウーフ。一気に間違えを訂正できる子だつたら、とつぐにトップレベルの学力が付いてるわ。」

「中1の時には、『Y e s , I b o』とか『O c t o b e r』とか書いてたじやない。それが単語テストで合格する様になつたんだし。すごい事だよ。」

「宿題やつてて、ああーこれ a s : a s ジャンカンタンじゃん とか言える様になつたし。」

すごい低次元の話だと思つかもしれないけれど、そこまで田線を低くしないと理解できない話もある。

それには、そうやって目線を低くしたからにせ、僅ながらの成長も

発見できる部分もありますしね。

ウーフなんだもん、気が付けばコレだけ成長してる。
進みは遅いけど確実に前進してるじゃない? そういう、まるで牛歩
のようにね(笑)

だから、成績表を頂いてきても、もちろん頑張らなきゃいけない点
はしつかり話します。

だけどそれだけじゃなくて、苦手な科目なのに総合評価が上がった
ね! とか、得意な科目は学年順位保守出来た。とか、男子なのに家
庭科が上がったね。褒める要素を見つけて評価してあげるようにな
ました。

だって、悪いところは自分でも分かってますから、中学生だし。
もちろん、最後は今後どのようにしたらいいか意識付けの意味、そ
の悪い点に気づいているかの確認も含めて、自分の言葉で言わせま
す。

まあ、これはウチの場合ですが。

結局、「ウーフ時間」が身体に染み込んでますから、急がせたり結
果を早く要求するのは根本的な解決にはならないんですね。
だから、僅かながらの成長を見守りましょう。

牛歩の歩みを……

大きくなると…

『学校では話かけないで。』

先日、授業参観に行つた時に休み時間、校内の場所をちょっと聞きいただけなのに言われた。だんだんと「外での自分」「家の自分」をウーフはウーフなりに分けはじめるらしい。

ウーフ的には、 “やつたね。これで完璧！ツネタの皮を着たぞ！（b^ー。）” って思つてゐるつもりなのだろう。

だけど、母からしてみれば所詮

「ねえキミ、背中のファスナー全開だよ。」
つて言つてあげたい状態。

まだまだ完璧にツネタを着こなせてないのに。
その点、主人は私もまんまとツネタに成りきつてゐる彼に惚れて…
結婚して…5年前くらいに彼もウーフなんだ…つていう驚愕な事実
が発覚するまで気づかない完璧ぶりだった。

そうそう、息子の半分ツネタつぶりは続いて、一緒に歩いてゐる時に、いつもと同じように話しかけてるだけなのに

『ちよっとバカっぽいから やめてくれる。』

つと言つてきた。

「は？ どなたですか？」 つて聞き返したくなるくらいだった。
ガーンつて感じで、結構ショックだった。

もしかしたら、私つて子離れ出来てないのかな？ なんて自分自身

色々考えてみたけど腑に落ちない。

ダメ。分からない。

だって「子離れ出来てない」っていうほど子供に依存もしない。
むしろ、男の子だから、ある程度野放しにしておいてるつもり。

友達関係・部活関係・勉強関係

全然話を聞かないわけではないけれど、根掘り葉掘りは聞かない。

元来おしゃべり野郎だから、ある程度は話してくれるの、恐らく
真実は3分の2くらいだろうなあつと思つて聞いてる。

女三姉妹で育つた私にはこのくらいの中途半端な男子は分からない。
もともと謎の生物の【長男ウーフ】だっていうのに、理解不能の度
合いは減る兆しは見えない。

理解しても、また別の角度から未知なる因子が出現してくる。

さすがに私もホトホト疲れます。

そんな時は、勝手に主人にバトンタッチしてしまう。
『そろそろ分からぬ領域だから、お願ひね。』 つと。

息子の通う学校は元々男子校。

今年度より共学化され、少しの女子も他学年にはいる。

本人は気にもしていない。

女子はウルサイから嫌だ。つて言つけど

やっぱり多少は気になつてるのかも知れない。

朝出かける前は頭の寝癖を今まで以上に気になるし。
彼ら流のスタイルで、制服を着崩してたりするし。
ウエストが細くなつたかも?とか気にしてみたり。

ハハハツ結局やっぱり年頃なんだわねえ。

なあんて私は思つて横目で楽しんでる。

そつそつ、あとはツネタの着ぐるみを両足しか履いてない状態。

丸つきり腕を通してなくて、上半身だけウーフのまま。

ミノタウロスっぽい感じっていつのかなあ……。

遊園地とかで着ぐるみのバイト君が休憩しているみたいな格好。つていえば分かりやすいかなあ。

それなのに、「僕ってツネタ着られたよ(*^o^*)」つて思つてるウーフもいたりする。

これは見ていてイタいですね。

ウーフは見ていて飽きない生き物。

だけど、我が子に限つてはハラハラさせられっぱなしだつたりもする。

そんな我が子もいつかは上手にツネタを着るようになる。

社会で一人前の顔して生活して、帰宅後皮を脱ぐ。

結局自分を着飾つて押し殺して生きるのだろうか?などと邪心も過る時もある。

元々素直なおつとりとした、ただマイペース過ぎる子なんだけどな。つと分かりつつ…

そうして生きないと生きられない世の中なんだよなあ。なんて自分に言い訳してみたり。

ウーフの母を代表して言ってあげたい。

『世の中のウーフたちよ。あまりムリをしそぎて身体を壊さない様に気をつけるんだよ。』

ヘルローゲ（前書き）

今回はこぎなり最終回になってしまった申し訳ありません。

しかし、ここは一区切り付けておかなければいけない」とおもいつきましたので。

また改めて別の切り口でお母様向けてスタートできたりっこなあつと考えております。

つとこりうりで、このカーフ話の本来の意味も願いも込めまして。

はじめに言つておかねばならなかつたのですが、最後になつて書くことをお許しください。

「めんなさい。

今まで色々な表現でつらい思いをさせてしまつたこと。
改めてお詫びしたいと思います。

ただ、どうしてもこうやって書いて残したかった訳があるんです。
自分自身悶々として、姉や周囲、雑誌などを手がかりに手探りで育児をしてきて、もともと子供好きの私が迷いに迷つて、悩みに悩んで、不信に陥つたこと。

「もうダメだ。」

「なんでこうなつちゃうの？」

「可愛いのに、可愛くない。」

「この子はどうして出来ないの？」

今思えば、なんてことない事一つ一つに真剣にぶつかり過ぎて、悩みすぎて、育児書通りにいかないのは分かつていても出来ない事に不安になり、自分を責め続けた日々があります。

それは、まだ成人して間もない時期にお嫁に來たこと。

義父と同居で、義母は居りませんでした。

実家の母はまだ働いておりましたし、一人の姉はもちろん子供をもうけておりました。

電話で聞くなりすればいいのですが、今のよつにメールやケータイをお互い持つてゐるわけではありませんし、お互いバラバラの時間軸で生活しているため聞くに聞けませんでした。

そのため、先ほど申しましたが大半は雑誌や育児書からの知識。または過去の姉達の育児を思い出して、自分流に当てはめてやつてきましたつもりです。

そして最後は、自分の生い立ちを覚えていたところから記憶を辿つて、母がしてくれた事や父が聞かせてくれた事の中で我が子に伝えたいことを教えていった。つという感じです。

息子が小学生になつて、だんだん男子特有の言い回しや言動になつてきてからは、共に子育てしている周囲のママ友達が良き相談相手であり、良きアドバイザーだったりしました。つとつより現在進行形です。

よつて、このエッセイはあくまでも「子育てエッセイ」として、第1子または男の子のお母様向けに書きました。

なので、子供サイドで読まれますと、気分を害される部分があります事を改めてお詫びいたします。

個人的観念と概念から、育児に対しての不安や心配を少しでも軽減出来たらいいな。つという願いを込めての一心である事をご理解くださいませ。

親愛なるウーフたちへ

今まで一人の女性であつた私達を「母親」にさせてくれてありがとうございます。

あなた達がいるからこそ
女であり

妻であり

一人の人間の人生を

「母」という一面を持たせてくれたおかげで
より幅のある人間性と豊富な知識を得ることが出来ました。

これからもよろしくお願いします。

ウーフの母親を代表して はるか より。

ハピローグ（後書き）

まちまちの「ひくひ」と、むくつまつたりと続けてむじりと細つてい
たのですが、そもそも言つてはいられない現実に思い起しえました
ので、まずははじめとして一区切りつけることにしました。

やつぱり我が子は誰でも可愛いですからね。

愛情もつて育てたいと思うのですが、やはり毎日の日常生活の中では甘
い言葉ばかりかけられませんから、どうしても厳しい言葉が多くな
ってしまいますが、たまには立ち止ることも必要かな?とも思つ
ています。

皆様の健やかな毎日を願つて……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9831f/>

【長男（ウーフ）】の育て方

2010年10月14日14時19分発行